

# 車椅子 これだけは実施して欲しい点検項目一覧

初めに



車椅子をより安全・安心して使用するためには、様々な点検が必要です。  
中でも「最低限、これだけは実施して欲しい」という下記にまとめた内容は、定期的に点検してください。

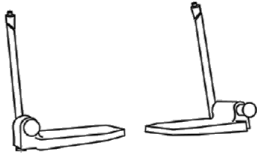


車いす安全整備士運営事務局  
一般財団法人JASPEC

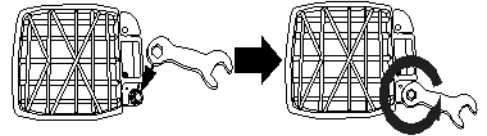
## ① フットサポート（足置き部分）の点検

⇒ 前方転倒の予防

点検項目…フットサポート（足置き部分）が抜け落ちそうにならないですか？



抜け落ちそうになる場合は…右図のようにパイプの下にあるボルトを工具で回して固定して下さい  
(工具は基本的に車椅子に付属されています)。

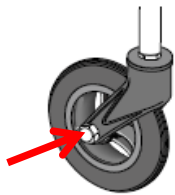


※パイプの下にボルトがない、異なる機構のものは、上記とは異なる点検をする必要があります。

## ② キャスタの点検

⇒ 重い車椅子からの脱却

点検項目…キャストの車軸にゴミは絡まっていませんか？



ゴミが絡まっている場合は…ピンセット等を使用して、ゴミを取り除いて下さい。  
ピンセット等では取りきれない場合は、専門家に相談して下さい。

※安易な脱着は、脱輪の原因となります。

## ③ 駆動輪（後輪）の確認

⇒ 重い車椅子からの脱却

点検項目…タイヤに空気は入っていますか？

人が乗った状態でタイヤが押しつぶされている状態は、空気が足りていません。



空気が少ない場合は…タイヤ側面の数値にあわせて、空気を補充して下さい。  
適正空気圧で補充すると、タイヤは想像以上に硬くなります。

※空気入れは高圧タイヤ対応のメモリ付き空気入れの使用を推奨します。

## ④ 駐车用ブレーキ（パーキングブレーキ）の確認

⇒ 転落事故(圧迫骨折)の予防

点検項目…ブレーキは効いていますか？

駆動輪（後輪）に**空気が十分に入っている事を確認してから**ブレーキを掛け、足を前に投げ出して後ろに体重を掛けながら、立ち上がり動作をして下さい。  
車椅子が少しでも後ろに逃げると、ブレーキの効きに不備があります。



ブレーキが効かない場合は…専門家にブレーキの調整をしてもらって下さい。

※レバー操作の固さ（タイヤへの押し付け力）では、効きの判断はできません。

## ⑤ 制動用ブレーキ（介助ブレーキ）の確認

⇒ 斜面での安全確保

点検項目…ブレーキは効いていますか？

グリップとレバーに指一本分の隙間を空けた状態で握り、自分の体重を進行方向の斜め下に押し込みます。

タイヤが回ってしまうと、ブレーキの効きに不備があります。



ブレーキが効かない場合は…専門家にブレーキの調整をもらって下さい。

**安全・安心な車椅子利用のために、是非とも実施して下さい。**